

1 関係者評価委員の評価より

- ・関係者評価の平均は3.843であった。概ね良好であることがうかがえる。
- ・評価項目で関係者評価委員が5人とも「4」と高評価いただいたのは23項目中12項目で、前年度より2項目増えた。今後もこれらの取り組みを継続していく。
- ・関係者評価委員が「3」とした項目は11項目あった。特に、「研修を生かした保育」は前年度の課題と捉えて取り組みを進めた結果、保護者のアンケートではわずかながら数値が上向いていたが、十分とは言えない。「食育の取り組み」についても2年前から課題と捉えて取り組んでいたが、再度改善に努めていきたい。

2 関係者評価委員からの提言

(1) 園内参観の気づき

- ・自分のやりたいことをやりたいメンバーが集まって生き生きと遊んでいる様子が見られた。同学年だけでなく異学年の子も一緒に遊ぶ様子も見られる。子どもたちが主体的に遊びを続けていて、空き箱やガムテープなど素材をいっぱい使って遊んでいる様子から発想力が高まっているのがうかがえる。廃材の利用は、どのように使うか考えることで好奇心や創造力を高めている。
- ・子どもたちが話し合いをしながら遊びを進めている場面があった。折り紙の金銀が2枚ずつしかない状況の中、半分に切る発想を子どもが考え出していた。
- ・保育室内の掲示物は、遊びの足跡が見えるものがある保育室とそうでない保育室が見られた。保育室内の環境も、外遊びから戻った子どもが遊び出すような素材の準備がどの保育室にもあるとよい。
- ・登園時の保護者とのやり取りを複数拝見したが、とてもよい雰囲気であった。子どもたちや保護者とのかけがりが丁寧になされている。

(2) 学校評価について

- ・「研修を生かした保育」に関しては、評価が難しいのではという意見が前年度あったが、数値が上向いており、改善の手立てがあったと思われる。教職員が理念を理解し成長した様子が見られた。今後も研修を積んでレベルアップを図ってほしい。自発的な遊びを通して学んでいる本園のよさについて、さらに保護者に理解してもらえよう、一層の工夫を期待する。子どもの遊びが広がっていることをもっとアピールして欲しい。

3 関係者評価委員会による評価を終えて

- ・保護者アンケートの回収率が昨年度より1.7%減で91.5%となった。保護者の方に関心をもっていただき、生き生きと遊んで学びを深めている子どもたちの様子を理解していただけるよう手立てを継続していきたい。
- ・5名の関係者評価委員の皆様には継続して園内参観をしていただくことで、更なる保育の質の向上につながる具体的な示唆をいただいた。
- ・自己評価で述べた通り、アンケートの数値が昨年度より上回り、講じてきた手立ての効果が見られたことから、本園の保育及び運営について評価をいただいていることを確認できた。引き続き、課題としている「研修を生かした保育」「食育の取り組み」については、教職員の研修を継続し、教職員自身が実感したことを保護者に理解してもらえようという情報の伝達・公開に努めていく。